

## 5月13日は「カクテルの日」。「母の日」にカクテルを楽しみませんか？

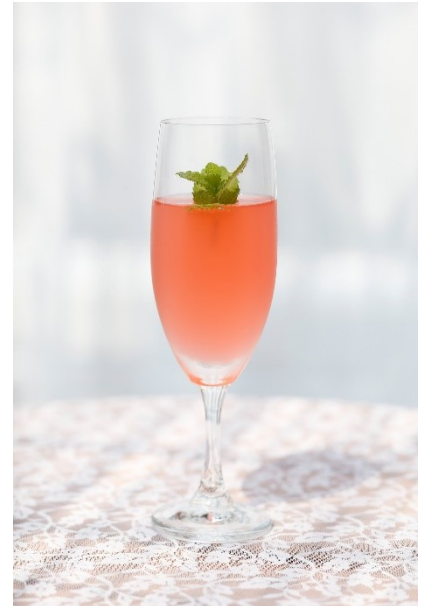
監修・NPO法人FBO 研究室

5月13日は「カクテルの日」として、世界でお祝いされています。ご存じでしたか？

1806年、アメリカの週刊新聞「バランス・アンド・コロンビア・リポジトリ」で「カクテル」という言葉が使われた際、読者から「カクテルとは何ぞや？」という問い合わせが寄せられました。その問い合わせに答える形で、その翌週の5月13日に、初めて「カクテル」の定義が記事になったため、5月13日はWorld Cocktail Day、「カクテルの日」としてお祝いされているようになったそうです。

「カクテル」とは、ミクスト・ドリンク (Mixed Drink) のことを言います。氷や器具を使って冷やしながらかく酒と何かを混ぜたり、あるいは温かい飲み物と酒を混ぜたりとさまざまな方法で作られたものですが、広い意味では、「2つ以上の材料を混ぜ合わせた飲料全般」のことを言い、アルコール入りとは限りません。

今年の「母の日」(第2日曜)は、5月13日で、ちょうど「カクテルの日」に重なりますね。お母さまに日ごろの感謝を込めて素敵なカクテルを作って差し上げたり、一緒にカクテルを飲みにお出かけしてみたいはいかがでしょうか？



母の日にカクテルを楽しみませんか？



知って得する「もてなしの技」のVol.3(2017年9月1日配信) <http://goo.gl/rsuffH> でも、主なカクテルの作り方や季節に合ったアレンジ方法を紹介していますので、参考になさってください。

昨今は、日本酒のカクテルもいろいろ作られるようになってきました。例えば、2015年には大妻女子大学家政学部ライフデザイン学科の学生が、当会および日本酒サービス研究会・酒匠研究会連合会(SSJ)と連携して「ご当地カクテル」、福井県若狭町と静岡県伊豆市の食材を使った“ご当地カクテル”を考案。伊豆カクテル「甘夏の恋人」や若狭カクテル「MIKATA 五湖」など、カクテルにつけられた名前も魅力的です。

<http://www.otsuma.ac.jp/news/2015/20151008174620> (大妻女子大学ホームページ)

今後、日本酒のカクテルは若い女性だけでなく、いろいろな層に人気が出そうですね。

◆参考 一般社団法人日本バーテンダー協会 <http://www.bartender.or.jp/detail.php?id=194>

## 【注意】

- ・記事、データ等の著作権その他一切の権利はNPO法人FBOに帰属します。
- ・記事・データ等の正確性については万全を期しておりますが、当該記事・データ等の利用により生じた不利益や問題等について当会は責任を負うものではありません。
- ・記事・データ等は予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。